



環境大レポート

第39号

Aug. 2023

K A N K Y O D A I R E P O R T



特集

Beyond COVID-19

コロナを超えて

2 3



キャンパスピックアップ

副専攻紹介
外国人研究員 コリア・メドベージュワさん コメント
英語村が対面での実施を再開しました!

4 5 6 7



就職支援

就職支援センター / 就職実績

8 9



研究紹介

衛星画像を用いた沿岸域生息場のモニタリングに関する研究
環境学部 佐川 龍之 准教授
説明可能なAIを用いた人間中心の社会の構築
人間形成教育センター 堀 磨伊也 准教授

10



ESSAY

A GREETING LETTER
人間形成教育センター ジェニファー モウア 特任講師

11



国際交流

国際交流プログラムについて
外国人留学生交流会を開催しました!

12



委員会&サークル活動・資格取得

学友会執行部・ダイビング部/資格取得について

13



プロジェクト研究

考現学〜観察を通して社会を読み解く〜

14



受賞・採択関係

環境省「脱炭素先行地域」に本学等の提案が選定されました

15



キャンパスニュース

TUESレポートより

15



お知らせ

PRコーナー/主なスケジュール 2023年9月から2024年3月まで

16

入学後からコロナが始まってしまい、なかなか思うような大学生活になりませんでした。昨年度までは大学に来ることも少なかったですが、今は毎日来ています。そして、自分の苦手な課題について、ゼミの先生に直接指導してもらえます。コロナが明けて本当に良かったと感じています。

[経営学部 4年 王 凱]



消費へ、車を持たない、シェアハウスやシェアリングエコノミー、ノマドのような生活も平気、コスパそれよりもタイパ重視、情報機器はスマホだけで完結させる。パソコンもほとんど使わないし、テレビは全く見ない。そこに企業はどのように食い込んでいって、消費を促すかを考えている。典型的にはサブスクのようなビジネスだ。でも、皆さんは経営学を勉強してきたので、そんな企業の思惑はきちんとわかっているし、それらに満足するのではなく、これからは仕事の中でそれを上回る自分たちに必要なグッズやサービスを生み出せばいい。そのための勉強だったわけだから。そこで気をつけるべきことは何か。それは物事に対して「審美眼」をもつこと。これが先生から皆さんにお伝えする最後のメッセージです。では、皆さんの今後のご活躍をお祈りしております。」

経営学部長の吉田高文です。この3年間は新型コロナウイルスへの対応が必要であったため、教育面ではフィールドワークやゼミの研修旅行などを思うように実施できませんでした。また、課外活動やさまざまな行事も制限されてきました。そのような中、今年3月に行われた2022年度卒業式(学位授与式)は、計画段階では実施できるのかどうかすら見通せない状況でした。しかし、その後感染の落ち着きから、座席間隔を空けず、学生席と保護者席を設けて、以前に近い形で卒業式を実施できました。現在は、今年5月の新型コロナウイルス5類移行に伴い、ほとんどすべての大学活動において行動制限がなくなりました。

さて、ここからは、卒業式で私が経営学部卒業生に述べたお祝いの言葉を一部披露させていただきます。私が、経営学部で学んでほしいと願っていることです。

「先生の親の世代は1960年代の高度経済成長期で産業も重厚長大、カラーテレビやマイカーが憧れの品だった。先生が20代の頃は1980年代で、新人類と呼ばれた世代。今につながるサブカルチャーやオタク文化を生み出し、消費するモノはファミコン、パソコン、SONYのウォークマンといった軽薄短小のアイテムだった。では、皆さんのZ世代はどうか。よく言われるのはモノからコト

特集 学部長からのメッセージ



コロナを超えて



誰もが皆その時代を生きるのだから

時代のせいにせず、

その機会をチャンスとして、

そこで得られる最大を目指すこと。

環境学部 学部長 遠藤 由美子

令和5年度は、5月から新型コロナウイルスの取り扱いが変わり大学にとっても殆どの活動制限がなくなるというニュースから、大きな希望と開放感をもって始まりました。環境学部の学びの特徴は、講義に加えてフィールドでの実践力や技術力の獲得にあり、この3年間のコロナ対策は学生に活動の物足りなさを感じさせているのではないかと心苦しさが我々教員にはありました。幸いにも本学では、都心部に比べて対面での授業への移行や対策をとりながらの活動を早く開くことができましたが、それでも今年度になり本来の活動が可能になると、学生や教員の表情は一機に明るさを取り戻したように感じられます。

環境学部では5月の中旬に、3年間中止になっていた1年生のチューター対抗スポーツ大会を実施しました。副学部長の根本先生がフィンランドの伝統ゲーム「モルック」を提案され、当日の大学正面ロータリー上の芝

生は参加学生で盛り上がりました。このイベントは、課題解決型の学習で大変重要となる「コミュニケーション力」、「仲間との協力」、「計画や調整力」を発揮する準備として重要な機会であり、楽しんで参加することでこれらの力が主体的に無意識に身につく良い機会だと思っています。1年生にとっては、これから4年間に取り組む実習や演習のスタートが勢よく切れたと思います。

一方この3年間には、オンライン・オンデマンドの活用スキルは大きく向上しました。教員は試行錯誤し、またスキルの向上のために全学的に教員の学習の機会を設けて授業運営をしてきました。この3年間を大学で過ごした学生にとっても、失敗や苦手意識もある中で挑戦・取り組みは、今後の情報社会にも適応できる力に繋がったのではないのでしょうか。

これからも様々な社会状況の変化はやってきます。私は学生に向けて、「誰もが皆その時代を生きるのだから時代のせいにせず、その機会をチャンスとして、そこで得られる最大を目指すこと。」と伝えるようにしています。我々としては、学生の目標や目指す最大は何か、異なる一人一人の芽を摘まず自由な心で学修が継続されるように今後も心掛けていきたいと思えます。本学の学生について、「素直で意欲的で向上心のある学生が多い。」とお褒めを頂くことがつい最近もあり大変うれしく思いました。学生の皆さんには、自信をもって自分なりの目標を掲げ積極的に取り組むことを期待します。

これから気をつけるべきことは
物事に対して「審美眼」をもつこと。

経営学部 学部長 吉田 高文



STUDENT VOICE 学生の声

やはり直接大学で授業を受けられるのが嬉しいです。オンライン型の授業では、先生と画面越しでの最低限のコミュニケーションに限られていましたが、直接だと、先生への質問もしやすく、臨場感のあるお話が聞けて、授業がさらに楽しいです。

[環境学部 2年 田中 詩織]





Campus Topics

副専攻制度

複数の専門性を身に付けた 社会から求められる人材になる



これからの社会では、多角的な視点を持ち、応用・境界領域に強い人材が求められます。本学では副専攻制度を採用しており、「環境学」「経営学」の他に、必要な情報を活用する力を育成する「AI・数理・データサイエンス」、国際社会で必要となる英語力を育成する「英語実践」、鳥取に密着した在来知を学ぶ「地域実践」といった5つの分野を体系的に学べます。主専攻とは別に、興味のある分野を学び、境界を超えた発想力を養います。



副専攻の履修の流れ

1年前期

○ 概略説明 …… 4月のガイダンス時期に概略説明を行います。具体的な履修手続き等については前期末に説明を行います。

1年後期

○ 希望調査 …… 希望調査の結果は2年前期の副専攻履修予測に利用します。

2年前期

○ 履修登録手続 …… 4月の履修登録の時期に合わせて登録手続を行います。

履修開始

2年後期
4年後期

○ 副専攻修了認定書発行 …… 副専攻を履修し、卒業時に副専攻の修了要件を満たしている場合には、副専攻修了認定書を発行します。

履修プランを教員がサポートします

主専攻と並行して体系的に学修を進めているよう、担当教員のサポートのもとで適切な履修計画を立てることができます。

就職活動時にアピールできる認定書を発行します

卒業時に副専攻の修了要件を満たしている場合に、副専攻修了認定書を発行します。また、履修に関する証明書も発行しますので、就職活動時にアピールすることも可能です。

履修にあたって

- 半期ごとに履修登録の時期に合わせて登録手続きが可能です。
- 各学期末(卒業判定時以外)の成績を基に適格認定を行います。一定の成績基準に満たない場合や進級不可になった場合には、登録を解除されます。翌期に成績基準を満たせば、改めて登録することができます。
- 副専攻登録前に取得した科目の単位も修了要件に含まれます。
- 副専攻の単位は主専攻となる学部卒業単位として認定されます。



分野別副専攻



環境学 ※経営学部生のみ受講可能

経営学部生を対象に、主専攻と並行して環境と人間の関係や環境に関する法令などの基礎的な理解を深め、環境問題の全体像を把握し、主専攻に活かすことのできる知識を身に付けることを目標とします。学部共通科目に加え、自然環境保全、循環型社会形成、人間環境の各分野の専門科目の一部を学ぶことで、環境学の中核的な内容を学ぶことができます。



経営学 ※環境学部生のみ受講可能

環境学部生を対象に、主専攻と並行して企業などの組織や地域における経営の様々な課題に挑戦し、その解決について具体的に提案・実行するための基礎力を身に付けることを目標とします。経営学の初学者が体系的に学ぶ基礎となる内容を経営学部の学生と同等の水準で学ぶことができます。



AI・数理・データサイエンス

主専攻の知識に加え、昨今の社会で要請されているAI(人工知能)、数理科学、データサイエンスについての基礎的な知識も備えた人材の育成を目標とします。AI技術とデータサイエンスを理解することで、それぞれの主専攻の分野で膨大なデータをより有効かつ効率的に活用できる能力を養い、さらに基礎となる数理を理解することで、新たな技法および技術を自分の力で修得していく能力も養えます。カリキュラムは、AI・数理・データサイエンスの基礎を学ぶために効果的な科目を編成しています。

AI・数理・データサイエンス教育研究センター



さいとう てつ
センター長 齊藤 哲 教授

〈設置の目的〉

AI・数理・データサイエンスの教育及び研究を行い、時代が求める人材の育成、社会への貢献に寄与することを目的として、2023年4月に設置しました。

齊藤教授のコメント

今年から新規に開講したAI・データサイエンス講義に関する2つの講座「AI」、「画像処理」は、ともに受講者は30名を超え、また、昨年から開講している「データサイエンス」も昨年の10名から30名超に増加しており、この分野への関心の高さがうかがえます。

データによる洞察、鋭い感性、自由な発想で 社会課題の解決と新たな価値創造へ

AI・数理・データサイエンスは、デジタル社会といわれる現代において、社会や企業に最も必要とされる分野のひとつです。本学が掲げるSDGsなどの「持続可能な社会の構築」には、高齢化・所得格差といった地域問題や廃棄物処理・カーボンニュートラルといった環境問題など、解決すべき複雑で多様な社会課題が数多く存在します。これらの社会課題の解決に向け、社会に存在する多種多様なデータの関係を読み解くデータ分析・利活用能力がますます重要になってきています。AI・数理・データサイエンス教育研究センターでは、(1)機械学習などのAI技術、(2)数理・統計学や情報学に関する知識、(3)ビッグデータなど多様なデータを収集・分析する技能の教育・研究を行います。また、地元の企業や行政機関との連携によって、実際にある社会課題を学生とともに洞察します。そうした経験によって、課題に対する鋭い感性と解決に向けた自由な発想を身につけ、さらにはデータに基づく合理的な意思決定で、新たな価値を創造する人材の育成を目指します。

課題別副専攻



英語実践

英語運用能力を高め、様々な話題について複雑な文章の主要な内容を理解し、国際共通語として英語を用いる人々と不自由なくコミュニケーションができ、幅広いテーマについて明確で詳細な文章を作成できるようになることを最終的な目標とします。英語運用能力を養成する英語応用科目、英語発展科目、実際に英語が使えることを確認・実感する英語実践科目があり、段階的に英語力向上を目指します。また、英語力を客観的に証明する外部資格試験に向けた学修支援科目もあります。



地域実践(麒麟)

地域独自の「在来知」を深く学び、体験する中で課題を発見し、大学で学ぶ普遍的な「専門知」をうまく運用し、地域社会の現実的な課題に実践的に対処する力を身に付けます。また、「主体性」や「判断力」、他者を受け入れ問題解決に導く「多様性」や「表現力」、「協働性」なども身に付けるために、演習や地域連携活動などを行い、地域の課題に積極的に関わるリーダーシップを持つ人材育成を目標とします。麒麟基礎科目、演習科目、地域志向科目の3つの科目があります。



Campus Topics

外国人研究員 ユリア・メドベージェワさん



本学では、2022年6月から、ロシアによるウクライナへの武力侵攻等により、学ぶ場や研究する場を安全に確保することができなくなったユリア・メドベージェワさんを外国人研究者として受け入れています。



▲ 入学式でのスピーチ

メドベージェワさんは、ウクライナ東部・ハルキウにあるウクライナ国立科学センター“O.N.ソコロフスキー土壌科学及び農業化学研究所”の博士課程学生（Ph.D.student）です。本学環境学部 角野貴信 准教授の研究支援のもと、博士論文研究を継続しています。



メドベージェワさんからのコメント

Hello, my name is Yuliia Medvedeva. I have a master's degree in Ecology from V. N. Karazin Kharkiv National University, Ukraine. Now I am studying online at the PhD program in Ukraine. The topic of my dissertation is related to the development of agriculture in the urbanized lands of the post-Soviet countries. This topic is relevant due to the economic problems of Ukraine, the poverty of the population and the violation of the logistics of the food industry during the war.

The Tottori University of Environmental Studies has extensive international contacts and invites foreign specialists, including within the framework of humanitarian missions. Thus, the University allocated places for young scientists from the Kharkiv city, where fighting is taking place.

At Tottori, I continue to work on my dissertation. The University provided a place to work, a laptop, programs in cartography and statistics, access to the library and other infrastructure of the University. The university also has an English Village, a place where students can enjoy learning English, and I had the opportunity to interact with them there.

— 大学について一言お願いします！

TUES is an ideal place for a comfortable and interesting study. The University is located in a picturesque place. During a break, you can walk to the farm and see the goats or walk along the forest.

— 鳥取の魅力を教えてください

Tottori Prefecture is no less interesting. In your free time, you can look at sand dunes, waterfalls, lakes, surf or climb mountains.



▲ 学生との交流(畑プロジェクト)

Also in Tottori there are museums, temples, a library.

（意訳）

こんにちは。私はユリア・メドベージェワです。ウクライナの国立大学で生態学の修士号を取得しました。現在、オンラインでウクライナの博士課程に在籍しています。私の博士論文のテーマは、旧ソビエト諸国の都市化された土地における農業の発展に関するものです。このテーマは、ウクライナの経済問題、国民の貧困、戦時中の食品産業のロジスティクスへの侵害に関連しています。

幅広い国際交流を行う公立鳥取環境大学は、(今回)人道的な使命の一環として外国の研究者を招聘することとし、戦火が広がるハルキウ市から(私のような)研究する場を失った若手科学者に(研究)場所を提供してくれました。



▲ 英語村でのプレゼン

鳥取で、私は博士論文の研究を進めています。大学では、研究室やPC、地図作成や統計プログラムに加え、図書館を利用することができ、(研究継続に必要な)インフラを提供してくれています。また、大学には英語村という学生が楽しく英語を学べる場所もあり、そこで皆さんと交流する機会もありました。

— 大学について一言お願いします！

公立鳥取環境大学は、快適で、興味深い勉強ができる理想的な場所です。大学は、(自然豊かな)絵画の中のような場所に位置していて、休憩時には、草が茂ったエリアに散歩に行きヤギを見たり、木々の近くを散歩したりすることができます。

— 鳥取の魅力を教えてください

鳥取県も(大学と)同様に興味深い所です。自由な時間には、砂丘や滝、湖(池)を訪れたり、サーフィンや山登りを楽しんだりすることができます。また、博物館や寺院、図書館があるのも魅力的です。



▲ 講演会での発表



Campus Topics

英語村が対面での実施を再開しました！

本学では、英語圏にいるような空間で、基礎的な英会話スキルとコミュニケーション能力の習得を図ることを目的に、英語を楽しく学ぶことができる「英語村」を開設しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面での活動が一部制限されていましたが、この度、対面でのアクティビティ等を再開することができました。



グループに分かれて会話をする“チャット”や、月ごとに実施するアクティビティなど、楽しく英語に触れながら様々な体験ができるようになり、4月から、早速たくさんの方が参加しています。

アクティビティでは、英語村スタッフが自分たちの母国の食文化を紹介したり、ゲームや音楽を通して、英語で楽しくコミュニケーションをとり活動しています。



C'mon C'mon Cafe Open!

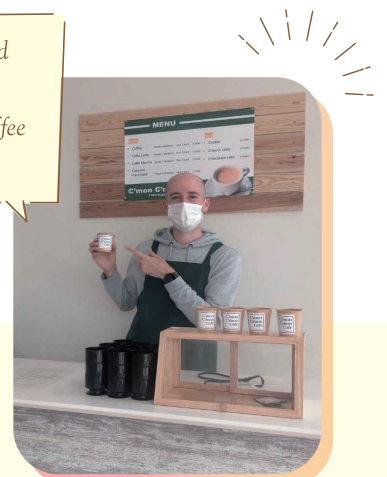
また、英語村に新たなスタンドカフェ『C'mon C'mon Cafe』がオープンしました。本学の学生限定で、チャットに参加すると、英語を使ってスタンドで飲み物を注文することができます。

英語村ってどんな感じだろう、一人だと不安…そんな心配ご無用です！定期的に開催されるイベントや楽しいアクティビティ、そしてフレンドリーな英語村スタッフが皆さんをお待ちしています！

みんな C'mon C'mon!



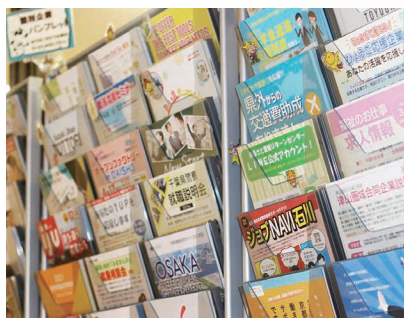
C'mon C'mon Cafe opened in the English Village!
Staffs will brew you good coffee after chatting with you.





就職支援センター

就職支援センターでは、学生一人ひとりに寄り添い、不安や疑問を解消しながら、希望する就職先への内定を目指し、就職活動のサポートを行います。1年次の進路ガイダンスや資格・検定の取得支援に始まり、3年次には全学生と個人面談を行うなど、小規模大学ならではの手厚いバックアップを実施しています。



就職アドバイザーからのメッセージ



大阪、名古屋の勤務経験を活かし、関西以西の企業を中心に会社訪問を行っています。また、面接練習、ES添削など個別指導や企業についての相談にもついています。就職は人生の大きな転機だと思いますので、4年間の集大成として最後まで頑張りましょう。

就職アドバイザー 吹野 之彦



学生の皆さんの伴走者として、希望や悩みに丁寧に向き合い、個別相談を繰り返しながらキャリア形成から実際の就職活動までを一貫してサポートしています。就職は人生の通過点ですが、大きな転機でもあります。遠慮しないで是非早めに相談に来てください。

就職アドバイザー 中島 靖雄

先輩の声 「在学中に公認会計士試験に合格！」



経営学部

いまみね さきと

今峰 佐紀人 さん

2022年度卒業生（京都府出身）

就職先：あずさ監査法人



簿記についてより知識を深めて、将来は会計の専門家になりたいと思い、公認会計士試験に挑戦しました。勉強を習慣化したり、理解不足にならないように対策をしたりした結果、在学中に合格できました。公認会計士としての学びはもちろん、企業の考え方や行動の意味を理解することができるマーケティングや、これからの企業経営には欠かせない環境に関する知識など、幅広い学びを通して将来に役立つ対応力を身につけることができました。

今峰さんから在校生へ！

大学では、高校に比べて自由な時間が多く、趣味や勉強など様々なことに挑戦できる機会があります。

そして、大学生活の中で何かを成し遂げたいと考えている方には公認会計士試験に挑戦してみることもおすすめです！また、公立鳥取環境大学の授業や制度を活用して新しいことに挑戦することもできます！卒業までの間、充実した大学生活を送ってください！

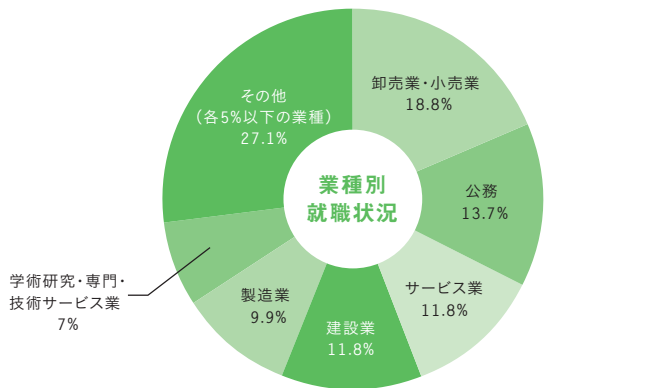


奨励されている資格を取得すると大学から表彰されます！



就職実績 主な就職・進学先(2018~2022年度卒業生)

環境学部



【一般企業】

〈農業・林業〉西日本ジェイエイ畜産、みんなの牧場(建設業)アイテック、アクアホーム、朝日工業社、鳳工業、カナツ技建工業、かんでんエンジニアリング、木内計測、九電工、島根電工、白月工業、第一技研、東京エネシス、トーエネック、中林建設、西原環境、ニッカホーム、日さく、広葉、フゾウ、メタウォーター、メタウォーターサービス、ヤマタホーム、ライフデザイン・カバヤ、菱機工業(製造業)愛知時計電機、アサヒホールディングス、あわしま堂、出雲村田製作所、岩谷瓦斯、ウェルファームフーズ、尾池工業、大阪シーリング印刷、オカネット工業、オーニット、カクダイ、児湯食鳥、三和ドック、大日本除虫菊、ダイハツ九州、中国木材、徳真電気工業、トーヨ、南国興産、日新工業、日新ホールディングス、日本板硝子、フジクリーン工業、ホーコス、丸五ゴム工業、マルサンアイ鳥取、三浦工業、宮崎県農協果汁、山崎製パン(電気・ガス・熱供給・水道業)アイ・グリッド・ソリューションズ、シン・エナジー(情報通信業)インビリティ、エイチ・エル・シー、NTTデータ・ビーンサービス、科学情報システムズ、キントロップ、テクノプロジェクト、第一コンピュータリソース、中広、日本ラッド、日本海ケーブルネットワーク、東日本電信電話、ビジネスアソシエイツ、プロビズモ、LASSIC、両備システムズ(運輸業・郵便業)エムケイ、JR西日本交通サービス、西日本旅客鉄道、日本交通、日本郵便、富士物流(卸売業・小売業)アセンテック、アベックス、アロージャパン、イオンリテール、イオンベーカー、イズミ、イズミヤ、井上カーゴウド、インフォファーム、maテレコム、岡山ダイハツ、貝印、学映システム、ガスバル、九州ケースデニキ、ゲンキ、コスモネット、コタニ、コンドレーテック、コナン商事、再春館製菓所、山陰酸業工業、末松九機、生活協同組合ユーコープ、ゼントレーディング、外林、ダイネン、ダリア、ダイレックス、ツカサ、津田産業、ツバメガスフロンティア、ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、東京ガスリックリビング、ナフコ、日興商会、ネクストエナジー・アンド・リソース、原商、パナールホールディングス、ビッグモーターグループ、平林金属、広印広島青果、フジ、富士電機産業、フジモトHD、藤原産業、扶桑電通、フーズマーケットホック、マックスバリュ九州、丸永グループ、ミツフロンテック、宮川工機、矢崎総業、ヤンマーアグリジャパン、リコージャパン、ロック・フィールド(金融業・保険業)あおいニッセイ同和損害保険、倉吉信用金庫、高知銀行、島根県農業共済組合、栃木銀行、明治安田生命保険相互会社(不動産業・物品賃貸業)アクティオ、エイブル、カチタス、山王スペース&レンタル、三信産業、昭和住宅、タカミヤ、帝人ヘルスケア、長谷エリアルエステート、福屋ホールディングス、モリス(学術研究・専門・技術サービス業)インベックスエンジニアリング、計測技研、森林研究・整備機構森林整備センター、スタジオリス、静環検査センター、西部技術コンサルタント、千、大同コンサルタント、大洋測量設計、中央開発、西谷技術コンサルタント(宿泊業・飲食サービス業)サルボ両備、知床グランドホテル、帝国ホテル(生活関連サービス業・娯楽業)一般財団法人公園財団、大木家、サニクリン中国、南都、日本セレモニー、平和観光、丸三(教育・学習支援業)With Win、屋久島おぞら高等学校、秀英予備校、自由学園女子部中等科、国際情報ビジネス専門学校(医療・福祉)アースサポート、神港園、鳥取県保健事業団、日の出医療福祉グループ、ベネッセスタイルケア(複合サービス事業)ぎふ農業協同組合、下野農業協同組合、全国森林組合連合会、全国農業協同組合連合会青森県本部、全国農業協同組合連合会愛媛県本部、鳥取中央農業協同組合、鳥取いなば農業共同組合、日南町森林組合、福山市農業協同組合、龍神村森林組合(サービス業(他に分類されないもの))アウトソーシングテクノロジー、アース環境サービス、イオンディライト、一般社団法人岡山環境検査センター、イージーエス、ウイルテック、エステム、愛媛総合警備保障、クイック、クリタス、サニックス、JCBエッセ、成通、セーバー技研、大栄環境、月島テクノメンテサービス、テクノプロ・コンストラクション、データベース、東洋ビルメンテナンス、日研トータルソーシング、日本技術センター、農山漁村文化協会、ベルクリック、マーキュリー、水King、水KingAM、ワールドインテック

【公務員】

環境省、厚生労働省、水産庁、林野庁、福島県、東京都特別区、愛知県(農業)、福井県(農林業)、京都府(林業)、大阪府、兵庫県、鳥取県(一般、水産、農業、林業)、島根県(農業、林業)、徳島県(農業)、香川県(水産)、愛媛県、熊本県、銚田市、豊川市、一宮市(消防)、香芝市、京丹後市、鳥取市、東広島市、三好市、三豊市、八幡浜市、南九州市、鳥取県警、岡山県警、航空自衛隊、陸上自衛隊

【教員】

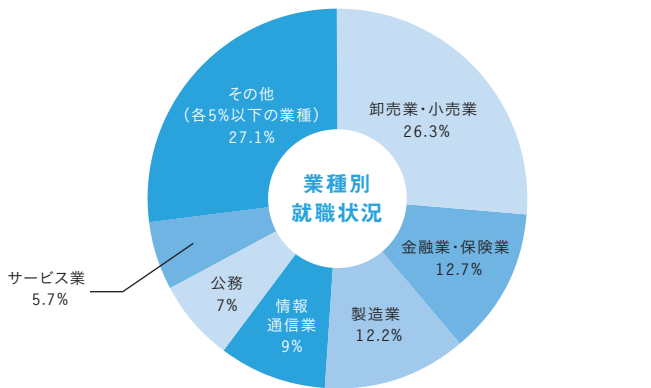
北海道、福島県、大阪府、鳥取県、広島県、高知県、長崎県、大阪市

【大学院進学】

北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、横浜国立大学、金沢大学、名古屋大学、京都大学、大阪教育大学、兵庫教育大学、鳥取大学、広島大学、高知大学、大阪市立大学、大阪公立大学、兵庫県立大学、公立鳥取環境大学、慶応義塾大学

※企業名は業種別50音順/株式会社等省略

経営学部



【一般企業】

〈建設業〉一畑工業、岩水開発、大阪城口研究所、鹿島道路、金下建設、三栄建設、秀光ビルド、白石建設工業、住友林業、大和ランテック、東建コーポレーション(製造業)アルファー食品、安泰ニット、イワキ、NTN、大阪銘板、大下産業、大山ドリ、大山乳業農業協同組合、オージー技研、柿原工業、川重明石エンジニアリング、川西水道機器、久商、廣榮堂、寿製菓、壽製菓、是常精工、サラダクラブ、三相電機、新関西製鐵、新来島サノヤス造船、スワニー、滝澤鉄工所、テラル、東京エレクトロン、トピア、日清食品ホールディングス、日本セラミック、濱中製鎖工業、photosynth、藤井電工、不二電子工業、フジパンググループ、不二家、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、武蔵野、メイワパックス、ロンタイ(電気・ガス・熱供給・水道業)沖縄ガス、名張近鉄ガス(情報通信業)アイデス、アイル、アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン、アール・エム、愛媛朝日テレビ、キューブシステム、京セラコミュニケーションシステム、共同コンピュータ、ケイス、コベルコソフトサービス、コロプラ、サイネックス、山陰ケーブルビジョン、システムエンタープライズ、システムズナカシマ、SHINKO、新日本海新聞社、ソフィア、ソファ、テクノ・セブン、東芝情報システムズ、東都システムズ、鳥取県情報センター、日本コンピュータシステム、ノビシステム、マイナビ、ヤマトシステム開発、LASSIC、リコーITソリューションズ(運輸業・郵便業)伊勢湾倉庫、岡山交通、長崎自動車、西日本ジェイアールバス、東日本旅客鉄道、福山通運(卸売業・小売業)アイ・ティー・エックス、アイングループ、青山商事、アダストリア、アルファ、イオンリテール、いすゞ自動車中国四国、伊丹産業、ウェブシャーク、宇都宮製作、エコトレーディング、エパルス、エレコム、ガスバル中国、カワニシ、北浜製作所、京都きもの友禅、グッディ、グッディ、ケーオウエイ、コスモス薬品、コニシ、坂本産業、佐渡島、山陰パナソニック、サンリブ、ジェイアールサービスネット岡山、システム、シブス、島根トヨタグループ、島村楽器、ジズン、ジンマーパライオメット、杉本商事、スズキ自販静岡、スズキ自販鳥取、セイセル、生活協同組合コープおいた、生活協同組合しまね、ダイトロン、ダイハツ広島販売、大洋製器工業、田中商事、ダンロップタイヤ中国、ディーエスアルフレッサ、デジアラホールディングス、天満屋ストア、東京靴、トップ産業、トヨタモビリティパーク、トライ産業、ナンバホームセンター、日本機材、日本郵船商事、ネットヨト兵庫、パナソニックコンシューマーマーケティング、パルミキ、バルコス、バルコムモーターズ、ハローズ、BANKANわものや、ハンズマン、日ノ丸産業、ヒラタ、富士電機テクニカ、藤田商店、藤徳物産、ブルーコンシャスグループ、ベネフィットジャパン、ホンダ山陰中央、マツヤスーパー、マリークントコスメチックス、ムトウ、元林、ユニネットライフ、四電ビジネス、リック、RESTA、レッドパイン、渡辺パイプ(金融業・保険業)藍澤證券、アニコム損害保険、エヌケーシー、大日ノ丸証券、岡三証券、おかやま信用金庫、香川銀行、掛川信用金庫、かんぽ生命保険、北日本銀行、クレディセゾン、山陰合同銀行、山陰信販、四国銀行、島根中央信用金庫、しまほ信用金庫、信用組合広島商銀、但馬信用金庫、但馬信用金庫、第一生命保険、中銀証券、中国銀行、中国労働金庫、津山信用金庫、TOKAIホールディングス、鳥取銀行、鳥取信用金庫、鳥取県信用農業協同組合連合会、トマト銀行、名古屋信用保証協会、南都銀行、西村証券、日田信用金庫、明治安田生命保険相互会社、山口フィナンシャルグループ、ゆうちょ銀行、米子信用金庫、両備信用金庫(不動産業・物品賃貸業)穴吹ハウジングサービス、ケイアイスター不動産、ゲオホールディングス、住友三井オートサービス、大東建託パートナーズ、トヨタレンタリース岡山、西尾レントオール、ハウスドック(学術研究・専門・技術サービス業)協和設計、TETRAPOT、非破壊検査、富士技術開発、ペリサーブ、あざさ監査法人(公認会計士)(宿泊業・飲食サービス業)アバグループ、エスエルグループ、くら寿司、グリーンホテル・ズコーレーション、タリーズコーヒージャパン、大起水産、東急リゾートサービス、ワールド・ワン(生活関連サービス業・娯楽業)三永、セツ、トカイ、マルハン、ルビー、ルルアーク(教育・学習支援業)公立鳥取環境大学、ビーシー・インクス 田中学習会(医療・福祉)大阪府国民健康保険団体連合会、国立病院機構東海北陸グループ、松寿苑、地域医療機能推進機構、鳥取県厚生事業団、ニチイ学館、兵庫県国民健康保険団体連合会(複合サービス事業)えひめ中央農業協同組合、岡山市農業協同組合、全国農業協同組合連合会鳥取県本部、たじま農業協同組合、新見市森林組合、晴れの国岡山農業協同組合、わかやま農業協同組合(サービス業(他に分類されないもの))アサンテ、アビリティセンター、イーウェル、ALL CONNECT、カーネル・ソフト・エンジニアリング、グロップ、三機サービス、JPツーウェイコンタクト、東武トップツアーズ、トランスコスモス、ネオキャリア、パーソルホールディングス、メンテックカンザイ、メンバーズ、夢真ホールディングス

【公務員】

防衛省、国土交通省中国地方整備局、鳥取県、鳥取県東部広域行政管理組合、あわら市、京丹後市、淡路市、高砂市、姫路市、美作市、新見市、高梁市、笠岡市、鳥取市、倉吉市、安来市、東かがわ市、静岡県警、兵庫県警、愛媛県警、山口県警、福岡県警、自衛隊熊本地方協力本部、鳥取中部ふるさと広域連合

【大学院進学】

横浜国立大学、公立鳥取環境大学

※企業名は業種別50音順/株式会社等省略



教員の詳細情報は
こちらからご覧
いただけます



● File1 衛星画像を用いた沿岸域生息場のモニタリングに関する研究

沿岸域は海洋全体の面積の約7%にすぎませんが、海洋生物にも人間社会にも重要な海域です。この沿岸域には藻場や干潟、サンゴ礁、マングローブ林など海洋生物の生息場が分布していますが、これらは水質を浄化したり流れを緩めたりするなどの化学的あるいは物理学的な環境形成機能もあります。一方で、人間活動によってもたらされる汚染や沿岸域の埋め立てにより、これら海洋生物の生息場は急速に衰退しつつあるのが現状です。



▲ 写真1 ホンダワラ藻場

そこで、私たちは衛星画像を用いたリモートセンシング技術で生息場をモニタリングする研究を行っています。衛星画像を解析することで、生息場の種類や面積を定量的に把握し、その変化を知ることができるのです。沿岸域の開発や管理にかかわる政府や民間企業などがリモートセンシングで得られたモニタリング情報を適切に活用して沿岸域の自然環境の管理や保全計画に反映させることで、自然と共生できる持続可能な沿岸域の活用につながっていくことが期待されます。



▲ 写真2 WorldView-2衛星で撮影された画像



環境学部

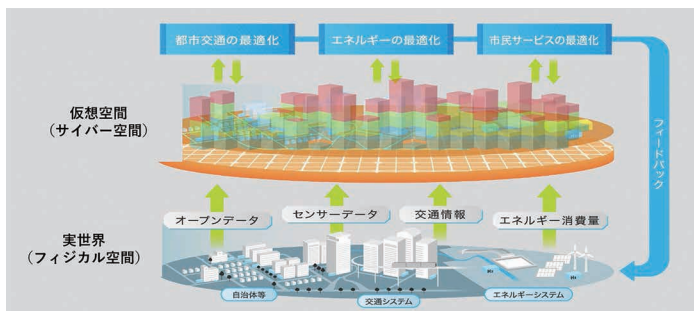
佐川 龍之 准教授

専門 | リモートセンシング、AI、
画像処理

● File2 説明可能なAIを用いた人間中心の社会の構築

我が国が目指す未来社会であるSociety 5.0では、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させることにより、経済的発展と社会的課題の解決の両立を目指している。ここでは、ICT技術を活用し、フィジカル空間の様々なセンサーから得られる多種多様なデータを人工知能により分析し、その分析結果をフィジカル空間の

人間に様々な形でフィードバックを行うサイバーフィジカルシステムが存在する。ここでの分析は深層学習等を用いて高精度に行う必要があるが、深層学習に代表される予測モデルは中身がブラックボックスになる場合があり、何を根拠に予測結果が算出されているのかがわからないことが多い。社会実装において根拠のわからない予測結果を用いて方策を決定



▲ サイバーフィジカルシステムの概要

することは信頼性・納得性の面で難しい。本研究では、予測根拠を明らかにすると同時に、それらを活用した最適化を行いながらサービスを実現する人間中心の社会の構築を目指す。



人間形成教育センター

堀 磨伊也 准教授

専門 | パターン認識、機械学習



A GREETING LETTER



人間形成教育センター

ジェニファー モウア 特任講師



It is such a pleasure to be able to teach at TUES as I think that being a part of a student's life as their teacher is a privilege. Coming from a multicultural background, my family are what you call "Hmong," which is a small minority originally from China but my parents were born and raised in Laos. During the Vietnam War in the 1970s, my family moved to America as



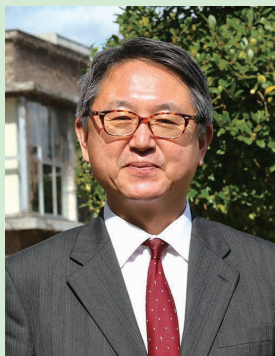
refugees and there I was born as an American citizen. It was certainly quite a struggle as we had 20 people living in a small house and I remember I had difficulty learning English and being put into extra English classes to improve my English skill. Because of such an experience, I can empathize with the students of the struggle and the stress of learning a new language. However, meeting Japanese international students in the U.S. has made me greatly respect their eagerness and diligence in coming from afar to excel their studies. I was greatly involved in a Japanese community and fell in love with the

people of Japan. This sparked an interest in teaching them English and yearning to become some sort of help to them. Now, here in Tottori I absolutely fell in love with the misty mountains, sounds of nature, and of course the food (I love JA)! I hope to become a mentor and a help to these students here at TUES to connect them with others as it is a rewarding experience.



教員著書紹介

book introduction



橋田邦彦・現象学・アーレントの再解釈

—生活世界における公共性と倫理—

岩田 直樹 特任教授 [人間形成教育センター・アドミッションセンター]

国内外ともに分断が進み、地球環境も悪化の一途を辿っている。本書は、未来世代に持続可能な世界を引き継ぐために、橋田邦彦・現象学・アーレントを再解釈し、ハーバーマス・レヴィナス・センらを援用して「いかにして生活世界から公共性・倫理が立ち上がってくるのか」を問い直した論考である。とりわけ戦前の科学・教育界のビッグネームであった橋田を論じた第1章は、一向に進んでいない橋田研究に新たな視点を加えている。

〈書誌データ〉

出版社：小取舎(2023/2/7)

発売日：2023/2/7 言語：日本語

単行本：314ページ

ISBN-10: 4991249120

ISBN-13: 978-4991249129

橋田邦彦・現象学・アーレントの再解釈

岩田直樹

小取舎



国際交流プログラム

本学では、海外大学との交流協定に基づき、様々な学生交流プログラムを実施しています。海外の学生との交流や歴史・文化体験は、語学力や国際感覚を磨くだけでなく、視野の広がりや自己成長のきっかけとなっています。

詳しくはこちら!

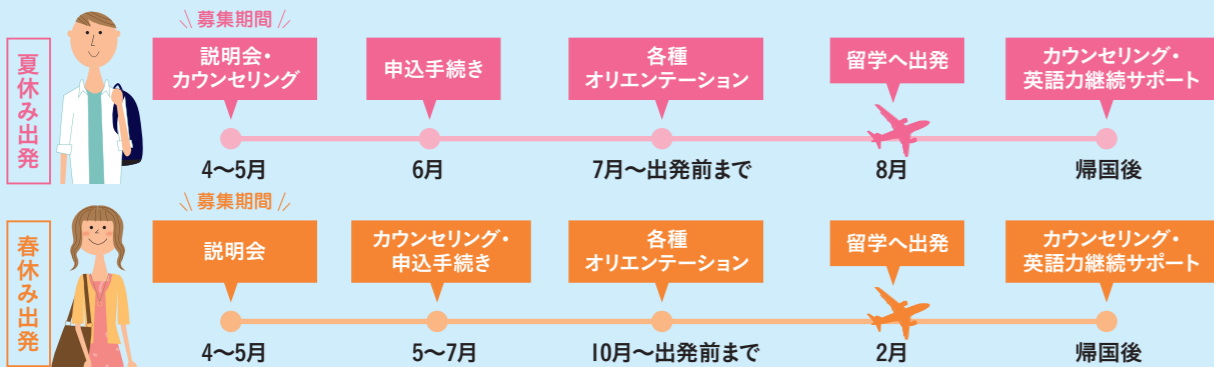


本学の国際交流プログラムを紹介します!

本学で実施している国際交流プログラムと、参加する際の一般的なスケジュールについて紹介します。

語学研修プログラム(短期間で集中的に語学研修や文化体験等ができる研修)

夏休み(ドイツ、アメリカ、韓国、中国) / 春休み(オーストラリア、カナダ、マレーシア)



学生文化交流プログラム

それぞれの大学が、学生の文化交流を主とした教育プログラムを企画し、相手国の学生に体験してもらう相互派遣方式の交流(アメリカ、韓国)

♪ほかに、鳥取にいながら参加できる「オンラインde国際交流」イベントなども開催しています!♪

語学力に自信が無い...



留学について詳しく話を聞いてみたい。留学に興味はあるけど悩んでいる...

事前説明会や個別カウンセリング、英語学習相談など、留学が初めての人でも安心して参加できるよう、留学中のケアを含めたサポートも行っています。まずは、お気軽に国際交流センターにご相談ください。



学友会執行部

私たち学友会執行部は、「学生の自主的な活動を通じ本学学生であることを自覚し、学生相互の親睦を深めること」と「学生の意見を積み、それを元に学生の環境活動及び学術文化・スポーツ活動等の課外活動を支援することにより学生生活の充実・向上を図ること」という2つの目的を達成するために日々活動しています。活動内容としては、総会の開催、委員会や部活動の統率、デジタルサイネージなどの各種申請の処理、大学との意見交換、同窓会との連携などになります。

保護者の皆さま、関係者の皆様におかれましては、日頃より学友会執行部にご支援いただきありがとうございます。コロナ禍も収束に向かい、環大らしさが戻りつつあります。学生の皆さんがより良い大学生活が送れるように執行部一同尽力して参りますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

学友会会長:吉田 樹希(経営学部 3年)



ダイビング部

私たちダイビング部は2021年に創部しました。部員は1年生9名、2年生5名、3年生4名、4年生2名の計20名です。活動内容は夏季のダイビングライセンス取得と不定期のダイビングが中心で、昨年から部活動で培った潜水技術を活かして、磯焼けの原因となるウニの駆除活動に参加し、鳥取の藻場保全に貢献しています。また、今年からは宿舎として沖繩でのダイビングも行う予定です!

設立したばかりで小規模ではありますが、アウトドア好きな方や海が好きな方など大歓迎ですので、ぜひ遊びに来てください!

部長:竹本 淳史(経営学部 3年)

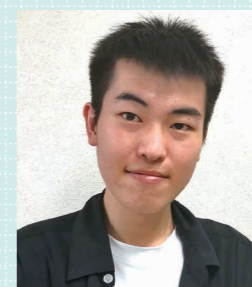
資格取得



環境学部 4年生(三重県出身) 横山 椋大さん

TOEIC 905点(IP,公式)

取り組んだきっかけは大学院入試で必要だったからです。3か月ほど前から単語と文法問題を勉強し、1か月前は15回以上過去問を解きました。目標をもって取り組み続けた結果、高得点という結果で報われました。また、TOEICを通してリスニング力や文法など総合的な英語力を向上させることができ、自分自身の自信にもつながりました。



経営学部 3年生(兵庫県出身) 荒木 凌さん

日商簿記検定1級 公認会計士試験第II回短答式試験

合格!

公認会計士を目指したきっかけはキャリアの幅を広げたいと思ったからです。公認会計士は幅広い分野で活躍できることが魅力の1つです。現在は2次試験に向けて勉強をしています。乗り越えなければならぬ壁は高いですが、自分を信じて日々努力し続けます。世界で「only one」の公認会計士になってみせます!

外国人留学生交流会を開催しました!

7月7日(金)、国際交流センター主催の外国人留学生交流会を開催しました。交流会は外国人留学生がより充実した学生生活を送ることができるよう、日本人学生との関わりを深めることを目的としています。

当日は、国際交流センター長の挨拶、国際交流センターによる留学生サポーター活動の紹介の後、日本、中国、ベトナム、台湾、韓国の出身学生が自国の文化紹介を行い、学生同士が互いの文化を理解し合いました。また、パスタ等のあたえられた材料を使い、チームでタワーを作って高さ競争マシュマロチャレンジゲームを行いました。想像力、戦略、コミュニケーション力を駆使し、チームワークを発揮して、楽しみながら交流を深めました。

国際交流センターでは、今後も継続的に留学生と日本人学生の交流イベントを開催し、学生同士のコミュニケーション能力向上及び多文化を理解する機会を提供することにより、世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成を目指します。

外国人留学生交流会の様子



▲ 国際交流センター長挨拶

▲ 文化紹介

▲ マシュマロチャレンジゲーム

▲ 交流の様子



プロジェクト名

考現学～観察を通して社会を読み解く～

考現学を提唱した今和次郎は、大正14年、西洋文化が流れ込む銀座で行き交う人々の服装や髪型を観察調査し、当時の流行や変わりゆく社会風俗を読み解こうとしました。このように考現学とは、人々の行動や物事を観察、調査し世俗や風俗を明らかにしようとする学問です。本プロジェクト研究では、考現学を参考に学生が普段げなく抱いている疑問を調査し、実際に解き明かすことをテーマとしました。狙いとして、調査テーマの設定、調査、結果の取りまとめ、考察という社会科学の基本的な研究プロセスを経験することで論理的思考力を養うことにあります。

今回学生が考案したテーマは、「講義で集中力を保つには?」、「外来生物・在来生物の認知度調査と在来生物の保全」、「利用者の行動変容による通学バスの満足度の向上」、「スーパーマーケットの特徴調査—消費者の認識と現実とのズレに着目して—」の4つで、グループワーク



方式で取り組んでいます。例えば、「スーパーマーケットの特徴調査」では、Aスーパーは鮮魚が安い、Bスーパーは品揃えが豊富といった、消費者が認識している各スーパーの特徴は、消費者が考えている通りなのか、単なる先入観で本当は別の特徴があるのではないか?という疑問を明らかにしようと4名(2年生2名, 1年生2名)が取り組んでいます。学生達はこの課題を明らかにするには、消費者が認識するスーパーの特徴と実際のスーパーの特徴を比較する必要があると考え、鳥取市内のスーパー4社を取り上げ、消費者(環境大生)に対するアンケート調査、スーパーの実店舗での観察調査を行いました。現在結果を取りまとめている途中ですが、学生らが疑問に抱いていたように消費者が抱くスーパーの特徴と実際の特徴は少し異なるようです。学生らには、今回のプロジェクト研究の経験をベースに他の演習科目や卒業研究を通して自身で考える力を身につけて欲しいです。



▲鳥取駅前聞き取り

プロジェクトアドバイザー

環境学部 山口 創 准教授

プロジェクトメンバー

プロジェクト研究1 〈環境学部〉1年:石川 愛華、木佐 翼、永田 惇人、永山 芽李
 〈経営学部〉1年:岡本 湧希、坂本 夏鈴、中村 兼悟、山田 誠、山本 千嘉

プロジェクト研究3 〈環境学部〉2年:田中 弥生、近松 青、野坂 尚立、福島 紀穂
 〈経営学部〉2年:中島 晴音、中島 大和、永井 海帆、西本 大壱、平田 一紀

環境省「脱炭素先行地域」に本学等の提案が選定されました

環境省が募集した「脱炭素先行地域(※1)第3回」に、本学は、鳥取市、株式会社とっとり市民電力及び株式会社山陰合同銀行とともに共同提案を行い、令和5年4月28日に選定されました。この脱炭素先行地域の選定証授与式に、本学の江崎信芳 理事長兼学長が出席し、選定書の授与を受けました。

この提案事業のなかで本学は、カーボンニュートラルキャンパスの実現を目指して「大学施設へのPV(太陽光発電)導入事業」を含む「キャンパスZEB(ゼブ:ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(※2))化事業」等を行います。また、この提案事業の対象地域である、本学が所在する若葉台地区全域及び佐治町全域の合意形成や省エネ・創エネ等に関する新技術の専門的な知見提供等に加えて、本学のサステナビリティ研究所がプロジェクトを立ち上げ研究に取り組みます。そのなかに、本学の学生も参画し、教育・研究活動等で地域脱炭素の実現に向けて協力していきます。

(※1) 環境省→政策→政策分野一覧
 →地域脱炭素→脱炭素地域づくり
 支援サイト→脱炭素先行地域



(※2) 快適な室内環境を実現しながら、省エネ・創エネ等により「建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物」。



▲脱炭素先行地域選定証



▲授与の様子(6月7日、東京の有楽町日ホールにて)



鳥取大学との協定

令和5年3月に、本学と国立大学法人鳥取大学との間で、大学院連合農学研究科と教育研究指導等に関する協力協定を結びました。この協定は、両大学の教育の一層の充実と学生の資質の向上及び相互の研究交流の促進による農林水産業に関する学術並びに科学技術の発展への寄与を目的としています。

協定により、本学大学院の修士課程で学ぶ学生が、大学院連合農学研究科の博士課程に進学し、本学教員の指導を受けることも可能となります。

これにより、博士課程へ進学する学生の教育が充実することを期待しています。



▲ 本学 江崎学長(左)、鳥取大学 中島学長(右)

ヤングケアラー・介護相談窓口の設置について

少子高齢化時代を迎え、家族の介護で学業や仕事の継続が困難となる事例が全国的にも増えています。

学生や教職員が安心して学業を続けられるように、本学は、介護のノウハウを持った企業に委託して、4月3日から相談窓口を設置しています。

心配、不安なことがあれば、気軽に相談してみてください。なお相談者の情報は、大学は一切収集しないのでご安心ください。

公立鳥取環境大学 学生・教職員向け
ヤングケアラー・介護 相談窓口
に相談してみませんか？

LINE 相談
受付時間：24時間365日
対応時間：毎日午後6時～午後11時
電話番号：0859-33-2111
予約制：なし※LINEに連絡、電話番号がなくても大丈夫です。
料金：無料

Q&A

だいたいの悩みは解決済みですが、相談して大丈夫ですか？

もちろん大丈夫です。安心して相談してください。また、匿名で相談することも可能です。相談内容は厳格に守られ、第三者にはお伝えいたしません。

うまくいかない相談が多いんです。

もちろん大丈夫です。相談内容は厳格に守られ、第三者にはお伝えいたしません。また、匿名で相談することも可能です。相談内容は厳格に守られ、第三者にはお伝えいたしません。

相談したら、どうなりますか？

まずは、今の状況を把握します。それから、だいたいの悩みは解決済みですが、相談して大丈夫ですか？

相談窓口運営企業：N.K.C.オーシングコアコーポレーション合同会社
登録簿やワーカージャーナルなどの情報を持った経験豊富なスタッフが対応いたします。
うまく伝えられなくても大丈夫です。いま思っていること、相談していることを教えてください。

寄付のお礼

鳥取県内JA(JAいなば、JA鳥取中央、JA鳥取西部)とJA共済連鳥取より学生支援の「星空舞」を寄贈いただきました



※「星空舞(ほしぞらまい)」鳥取県産のブランド米



本学在生のご家族よりお米を寄贈いただきました



和紙絵画を寄贈いただきました



詳しくは各お問い合わせ先へご連絡ください

公開講座



公開講座 2023

本学では一般の方を対象とした公開講座を実施しています。オンデマンド動画配信もありますので、ぜひご視聴ください。(動画は随時更新中)

● 講座情報や動画視聴はこちらからお申し込みフォーム

公立鳥取環境大学 公開講座



<https://www.kankyo-u.ac.jp/about/alliance/seminar/>

お問い合わせ 研究交流推進課

TEL 0857-38-6704

E-mail event@kankyo-u.ac.jp

大学祭



第19回 環謝祭 (大学祭)

灼熱～笑顔と活気であふれる環謝祭へ～

アーティストによるコンサートや芸能人によるトークショー、参加団体による出店やユニークなパフォーマンスステージなども予定しています。

● 日程：2023年10月14日(土)・15日(日)

● 会場：公立鳥取環境大学

お問い合わせ 大学祭実行委員会

E-mail gaksai@kankyo-u.ac.jp

HP <https://r.goope.jp/kansyasai21>

主なスケジュール (2023年9月から2024年3月まで)

9/20～9/22	後期ガイダンス	学務課
9/20～9/22	履修登録期間	学務課
9/25～9/29	履修科目変更期間	学務課
10/13	月曜日の授業/午後休講	学務課
10/14～10/15	環謝祭	学務課
10/16	月曜日の授業/午前休講	学務課
11/11	保護者懇談会	学務課
12/29～1/3	年末年始休業	総務課
1/12	大学入学共通テスト前日準備(全日休講)	入試広報課
1/13～1/14	大学入学共通テスト(学内立入禁止)	入試広報課
1/24	プロジェクト研究発表会	学務課
1/29～2/2	後期試験	学務課
2/6～2/8	後期追試験	学務課
3/20	学位授与式	総務課

※スケジュールは変更になる場合があります。変更がある場合は本学ホームページに掲載します。

2023年度
学部・大学院
学位授与式

【日時】2024年3月20日(水・祝)

- 受付開始 / 9:30
- 開 式 / 10:00
- 終了予定 / 12:00

【会場】とりぎん文化会館梨花ホール
(鳥取県鳥取市尚徳町101-5)

2023年度公立鳥取環境大学学部・大学院学位授与式を右記の通り執り行います。開催日が近づきましたら、詳細をホームページでお知らせしますので、ご確認の上、ご出席ください。

〈お問い合わせ先〉

公立鳥取環境大学総務課
TEL:0857-38-6700

— 寄附金のお願い —

学生支援及び教育環境の充実を目的として「公立鳥取環境大学基金」を設立しました。皆様から頂いたお志を財源とし、修学援助など学生の生活や教育活動への支援及び教育研究施設・設備等の整備に活用させていただきます。※1口1,000円からのご寄附をお願いしています。



詳細はこちら

<https://www.kankyo-u.ac.jp/about/donation/>

〈お問い合わせ先〉 総務課財務係

TEL:0857-38-6705 E-mail:zaimu@kankyo-u.ac.jp



公立鳥取環境大学 公式SNS

お知らせや
ニュースを
発信中!



@kankyo_U
(旧ツイッター)



@kankyo-u



公立鳥取環境大学
公式チャンネル

